おひなさまをお持ちになった
侯爵鍋島家のご夫人たち

栄子

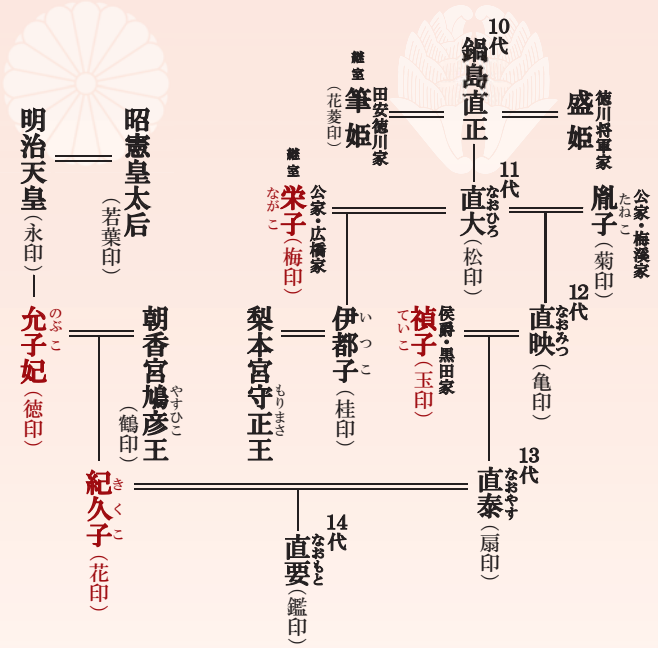
公家広橋胤保の女。安政2年5月18日生。明治14年4月に鍋島家11代直大の継室としてイタリアで結婚。昭和16年1月3日卒（87才）

禎子

侯爵黒田長知の女。明治15年11月8日生。明治33年11月28日に12代直映と結婚。昭和8年11月21日卒（52才）

紀久子

朝香宮鳩彦王の第一王女。明治44年9月12日生。昭和6年5月12日に13代直泰に降嫁。平成元年2月12日卒（79才）



侯爵鍋島家歴代のご夫人たちがお持ちになった明治～昭和初期の雛人形・雛道具を飾り立てる恒例の大雛段もお見逃しなく！

特別公開
御台人形

皇族子女のみが賜った慶事の御人形

木製の台に御所人形や松竹梅などおめでたい作り物が取付けられた御台人形。慶事の折々に、皇族の子女だけが天皇・皇后両陛下より賜わることができた。朝香宮鳩彦王第一王女紀久子様（13代鍋島直泰夫人）は明治天皇の孫にあたることから、ゆかりの御台人形三基が鍋島家に伝来した。明治45年（1912）の紀久子様初節句から100年を迎えたこの春、御台人形 三基すべてを一堂に公開。

山姥

明治25年（1892）、明治天皇の第八皇女 富美宮（朝香宮允子妃）が、誕生祝いとして皇后陛下（昭憲皇太后）より拝領。のち、娘である紀久子様に伝えられた。熊の親子と戯れる金太郎とその母山姥の御台人形。

雛鶏遊御人形

明治44年（1911）10月30日、紀久子様が初参内の折に明治天皇より拝領。緑々しい松に鶴、その根元に笹と亀、色とりどりに咲く菊庭に雛鶏が遊ぶという吉祥尽しの御台人形。

花車引御人形

100年前の明治45年（1912）桃の節句の日。紀久子様が初節句の折に明治天皇・皇后両陛下より拝領した記念すべき御台人形。松には鶴が遊び、亀と笹（竹）を散らした衣裳の男の子が引く花車には桜が盛りと咲き誇る。

徽古館周辺ガイド

ひなまつり期間中のイベント〈会場：徽古館2階〉

◇ 毎週土・日はお茶会（抹茶席または煎茶席）を開催
◇ 折り紙教室「鍋島小紋柄の折り紙でおひなさまを作ろう」
2月26日日、3月4日日、3月11日日 各日とも11時～15時
◇ ひなまつり煎茶会 3月3日土 11時～15時
◇ 春の煎茶会 3月17日土、18日日 各日とも11時～15時
◇ 朗読のひととき 3月20日祝
11時～／15時～（各回30分程）
※午後の部の開始時間は、15時です。
一部広報に誤りがございましたのでご注意下さい。

交通アクセス

◆長崎自動車道 佐賀大和I.C.から市街方面へ車で20分
◆JR佐賀駅から徒歩約20分
◆佐賀駅バスセンターから、市営、昭和、祐徳の各バスで…
◇「県庁前」下車、東へ徒歩3分
◇「佐嘉神社」下車、西へ徒歩1分

駐車場あります

徽古館
The Museum CHOKOKAN NABESHIMA
TEL・FAX 0952-23-4200
〒840-0831 佐賀市松原2丁目5-22